

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成24年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間 (4月～3月)

施設名	秋川橋河川公園	指定管理者	あきる野市観光協会
指定期間	平成23年4月1日から 平成26年3月31日まで	担当課	観光商工課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	315	151	47.9%	
	延べ利用者数 (人)	70,000	53,454	76.4%	
収支状況	収入	指定管理料 (円)	—	—%	
		使用料収入(売上) (円)	39,000,000	47,518,800	121.8%
		自主事業収入 (円)	—	—	—%
		その他の収入 (円)	13,000,000	13,273,004	102.1%
	収入計 (円)		52,000,000	60,791,804	116.9%
	支出	人件費 (円)	16,500,000	11,754,092	71.2%
		維持管理経費 (円)	5,500,000	4,033,075	73.3%
		自主事業関係経費 (円)	—	—	—%
		その他の支出 (円)	12,800,000	10,728,082	83.8%
	支出計 (円)		34,800,000	26,515,249	76.2%
収支 (収入－支出) (円)		17,200,000	34,276,555		

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

【開館日数・利用者数について】 台風等の影響が少なかったため、利用者数及び開園日数が増加した。	【事業の実施状況について】 計画に基づき事業を実施した。	【収支状況について】 利用者数及び開園日数が増加したため、売上げの増加につながった。
---	--	--

所管課の評価 (指摘事項)

【開館日数・利用者数について】 指定管理者の評価にあるとおり、天候に恵まれたため利用者数及び開園日数が増加した。	【事業の実施状況について】 計画に基づき事業を実施した。	【収支状況について】 利用者数が増加し、悪天候等による河川整備も少なかったため、収支状況は良好であった。
--	--	--

2 チェック項目

評価項目・評価事項 (数値目標)	確認資料等	指定管理者の 自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報	適正・要改善
施設・設備の 維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	実地	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	実地	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負っていない	実地	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善

安全性への配慮	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	人員配置計画、実地	適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	1回/年 研修マニュアル	実施回数1回 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている	実地	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）	例年に比べ、天候に恵まれたことから来園者数及び収益が増加した。一方、夏休み期間中などの繁忙期は、施設運営に要する職員の確保及び適切な人員配置の達成が困難である場合がある。今後、新シフトを導入し勤務体制の見直しを行う。
所管課による所見（指摘事項など）	上半期については、例年に比べて台風など悪天候の影響が少なく、また夏場を中心に秋川渓谷沿いがメディアに多く取り上げられたことなどから、来園者数及び収益が増加した。一方で他のバーベキュー施設同様、繁忙期や天候等により施設の運営に必要な人員が大きく変動するため、より効率的かつ柔軟な人員計画を作成し、適正な人員配置の達成を図る必要がある。